



インドネシアでのプレゼンの様子

**港湾局 参事官（技術監理・情報化）室
（サイバーポート推進室）課長補佐
清水 光治（令和4年入省）
前職：地方公務員（都道府県）**

現職で担当している業務内容について

港湾関係者間で行われる様々な手続などのDXと港湾全体の生産性向上に向け、「サイバーポート」というデータプラットフォームの構築・利用促進業務に従事しています。

これまでのキャリアパス

H26.4 地方自治体（都道府県） 入庁

（地方公務員として、港湾の新規プロジェクトに係る企画・予算要求、事業評価、施設の維持管理に係る業務など）

R4.4 入省 関東地方整備局 港湾空港部
港湾計画課 課長補佐

（事業評価、視察対応など）

R5.8 現職

前職での経験が入省後の業務に活かした事例

新たなシステムを構築していく上では、運用設計と構築後の業務変革をイメージすることが重要です。

前職では、港湾施設の維持管理業務を通じ、様々な手続や関係者と折衝を行ってきた経験が今の業務に活かしています。

入省後、苦労した点や仕事のやりがい

「今までのやり方に慣れているから」、「DX？ デラックス？」といった方々にも新たなシステムを理解いただき、実際に使ってもらわなければ意味がありません。操作動画やPR動画、説明会等を通じた継続的な呼びかけを行い、従来と比較して業務削減効果が見られたときは非常にやりがいがありました。

今後も港湾の様々な政策課題に対し、DX分野から課題解決に向け、取り組んでいきたいです。

※本スライドの記載内容は2025年4月時点のものです。